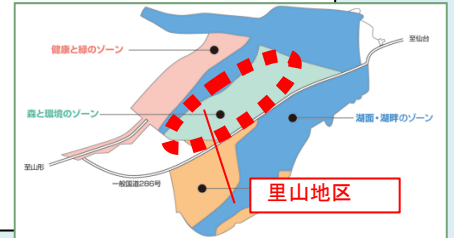




みちのく公園「里山地区」の「志」

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



12月5日(土)曇り 自然セミナー

●自然セミナー：里山の管理／キツツキの巣箱

松枯れ病対策のため、キツツキを増やそうと、キツツキの巣箱をづくりました。松枯れ病はマツノマダラセンチュウが松の幹の増えて、導管が詰まるのです。このセンチュウがはマツノマダラカミキリ等が運ぶため、キツツキにカミキリ虫を食べてもらいます。

5つ作って、2つを林にかけました。2年前にかけた巣は使われた様子がありました。



●ログハウスづくり

ログハウスづくりは少しずつ、少しずつ、進んでいます。加工が難しいです。今日は2段目までいきましたよ。



■本日の主な活動

- ・ジップラインの調整
- ・ログハウス作り
- ・屋根材用の板材引き
- ・ロケットストーブの調整
- ・柿の収穫、干し柿の準備



12月12日(土)晴れ

今年の冬は暖かいですね。今日も晴れて、いろいろな作業ができました。

先週から試行しているロケットストーブの改良をしました。先週、作ったのはペール缶を使ったもの、今日は、レンガを使ってづくりました。

- ロケットストーブは、ドラム缶やレンガ、土などで築く暖房設備で、1980年代にアメリカで発明されました。
- 手づくりできるシンプルな構造にもかかわらず、従来型の薪ストーブと比べて燃焼効率が格段に高く、使う薪の量は、3分の2から2分の1程度。
- 完全燃焼に近いため煙もほとんど発生せず、筒の上部を使って調理もできるというすぐれものです。



■本日の主な活動

- ・ログハウス作り：丸太運び、スギ皮むき
- ・屋根材用の板材引き
- ・ロケットストーブの改良
- ・レンガを使ったロケットストーブ作り

12月19日(土) 晴れ 森の楽校

12月の会員活動は、年末の餅つきです。準備として、3日前から餡子を煮たり、前日にはもち米を研いだり…。当日は7時半に集合です。会員のほか、ご紹介の方も参加してくださいました。今年は2升臼を6回、合計12升つきました。

大豆を炒って、石臼で黄粉を作ったり、つきたてのお餅を丸めて、お供え餅を作ったり。餅つきの間に、ミニ門松づくりやしめ縄づくりをして、お正月の準備をしました。



午後は、「やっぱりツリーハウスに登りたい!」ということで、森の楽校へ!

初めての参加の方、大人も子供も楽しんでいました。

12月20日(日) 晴れ

公園の近くの農園で、白菜と大根をたくさんいただけることになってので、皆で収穫に向かいました。それを保存するため、白菜は漬けものに、大根は凍み大根にしました。葉っぱも茹でて、凍みさせます。

寒い東北の暮らしの知恵です。



12月26日(土) 晴れ

今年の仕事納め。とは言え、通常活動です。

先週の会員活動に参加できなかった会員や一般の家族連れも参加して、にぎやかな活動でした。

最後に手づくりのお地藏さんを掃除して、正月飾りをして今年の締めとしました。



■本日の主な活動

- ログハウス作り
- スギの皮剥き
- 屋根材用の板材引き
- 垂木づくり
- 休憩小屋のかたづけ
- 畑の間引き

1月の主な活動予定

| | |
|----------|-----------------------------|
| 1月9日(土) | ボランティア活動 仕事初め! |
| 1月16日(土) | 森の自然セミナー(会員・一般) ボランティア活動 |
| 1月23日(土) | ボランティア活動 森の楽校(会員・一般) |
| 1月30日(土) | ボランティア活動 |

- ボランティア活動の仕事納めは12月26日、新年仕事初めは1月9日です。
- みなさま、よいお年をお迎えください!
- 暖冬と言われていますが、蔵王降ろしが吹き始め、いよいよ冬将軍の到来です。
- 年が明けると、本格的な冬の活動として、炭焼きとキノコの植菌の準備を進めます。コナラの伐倒もします。